

実践レポート

【報告者】 三瀬 久美子	【日にち】 4月
【学年】 1年	【教科・単元名】 図工「はさみめいじんになろう」
【実践内容】 <ul style="list-style-type: none">・ りんごの形の折り紙を、はさみを使って切る。・ 楽しみながら、できるだけ長く皮をむくように切っていく。・ できた作品は、ネームプレートを使って黒板に掲示し、友だちどうしで見合う。・ いろいろな形の線にそって、紙を切ることに挑戦する。	

実践レポート

反省】

入学して初めてのはさみを使った学習である。入学して間もないこの時期は、いろいろな園から来た児童たちが、どれくらいはさみを使いこなせるか、実態がまだよく分からない。そこで、どの児童も楽しみながらはさみを使うことができるようにと考え、今回の教材を用いた。

「今日は、りんごの皮むきをしてもらうよ」という投げかけに、始めは「どうやるんだろう」と心配顔の児童であったが、手本を見せると「本物みたい!」「すごい。やってみたい!」と声があがった。そこで、途中で切れないように、できるだけ長く切ることを目標に、いっせいに切っていった。切っていく中で、途中で切れてしまった児童は、続きから再スタートできるようにした。また、どうしてもうまく切ることのできない児童には、新しい紙を使ってもよいこととした。できた児童から順に前に掲示していくと、友だちの長さ比べたり、名人見つけをしたりする姿が見られた。全員が掲示できたところで、ワークシートを使って他の切り方に挑戦したが、もう一度皮むきに挑戦してもよかった。友だちの作品を見てから挑戦することで、もっと長く切ろうとする姿（ひびきあう姿）が見られたかも知れないと思った。

また、ワークシートは、丸い形やぎざぎざの形、動物の形をしたものを切った。しかし、切っただけで終わってしまったので、切ったものを使って画用紙に自由にはってお話作りを行うとよかった。そうすることで、はさみだけでなく、のりの使い方も見ることができたと思う。

【参考文献】 なし